

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第63号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成22年1月14日 05時55分ごろ	
発生場所	シンガポール港のパイロットステーション付近 (概位 北緯0°11.3′ 東経103°39.0′)	
事故等調査の経過	平成22年4月19日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>LPG運搬船 第二十一^{ひよし}吉丸、998トン 135326、日吉海運有限会社</p> <p>船長、一級海技士（航海） 機関長、四級海技士（機関）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、平成22年1月14日05時50分（現地時刻、以下同じ。）、シンガポール港に入港してパイロットステーションで待機し、05時55分、パイロットボートが見えたので、主機を始動したところ、始動しなかった。</p> <p>本船は、パイロットの手配で来援したタグボートに^{えい}航されて安全な海域に投錨したのち、主機の修理作業を行い、同日09時55分、着棧を予定していた棧橋に着いた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、無風、視界 良好</p> <p>海象：穏やか</p>	
その他の事項	<p>主機の始動弁が、6シリンダ中2シリンダ分、固着して作動不能となっており、船内で保管していた予備品と取り替えられた。</p> <p>主機は、始動空気による自己逆転式機関で、燃料油にはC重油が使用され、運転時間は年間約5,000時間であった。</p> <p>主機始動弁の定期的な開放整備は、ドックからドックまでの約1年間隔で行われていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、シンガポール港のパイロットステーションで待機中、始動弁が固着して主機が始動不能となったものと考えられる。</p> <p>主機の始動弁は、内部の弁棒やブッシュが汚損して固着した可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が、シンガポール港のパイロットステーションで待機中、主機始動弁が固着したため、主機が始動不能となったことにより発生したものと考えられる。	

